



## 2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月12日

上場会社名 阿波製紙株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3896 URL <https://www.awapaper.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 康弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 CFO (氏名) 岡澤 智 TEL 088-631-8101  
 定時株主総会開催予定日 2022年6月24日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期の連結業績 (2021年4月1日～2022年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	15,023	19.7	269	-	275	-	282	-
2021年3月期	12,551	△18.3	△153	-	△114	-	△444	-

(注) 包括利益 2022年3月期 336百万円 (-%) 2021年3月期 △482百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	28.34	28.11	6.5	1.8	1.8
2021年3月期	△44.59	-	△9.9	△0.7	△1.2

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 -百万円 2021年3月期 △16百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	15,534	6,373	28.9	450.28
2021年3月期	15,739	6,101	26.9	423.73

(参考) 自己資本 2022年3月期 4,493百万円 2021年3月期 4,228百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	1,524	△316	△1,291	361
2021年3月期	199	△472	220	440

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では2023年3月期の当該基準日における配当予想額は、未定であります。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,100	13.0	120	38.1	110	3.6	50	134.1	5.01
通期	16,400	9.2	400	48.5	360	30.6	200	△29.3	20.04

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 一社（社名）、 除外 1社（社名）阿波濾材（上海）有限公司  
 （注）詳細は、添付資料13ページ「4. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（当連結会計年度における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2022年3月期	10,172,676株	2021年3月期	10,172,676株
2022年3月期	193,932株	2021年3月期	193,932株
2022年3月期	9,978,744株	2021年3月期	9,978,744株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	11,593	18.8	124	—	173	—	435	—
2021年3月期	9,761	△17.2	△486	—	△308	—	△578	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	43.62	43.25
2021年3月期	△57.95	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2022年3月期	12,072	3,722	30.5	368.66		
2021年3月期	12,078	3,303	27.0	326.71		

(参考) 自己資本 2022年3月期 3,678百万円 2021年3月期 3,260百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
5. 個別財務諸表	15
(1) 貸借対照表	15
(2) 損益計算書	17
(3) 株主資本等変動計算書	18
6. その他	20

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ①当連結会計年度の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルスワクチン接種の普及などによる経済活動の本格的な再開の動きを受け回復基調となりましたが、変異株による感染再拡大の懸念や中国のゼロコロナ政策継続によるサプライチェーンの混乱に加えて、ウクライナ情勢悪化による原材料・燃料価格の更なる上昇が重なり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

自動車関連部品市場は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた前年比では回復が見られるものの、半導体をはじめとする部品不足による減産が長引き、緩やかな基調となりました。

一方水処理用分離膜市場は、半導体産業などの工業用プロセス水や家庭用飲料水用途の増加に加え、海水淡水化用途も回復しており、アジア・中東地域を中心に需要が堅調に推移しました。

このような事業環境下において、当社グループでは当期にスタートしました第3次中期経営計画「Awa Breakthrough Plan」のもと、基盤事業の拡大と強化および新事業の創出に向けた活動やDXによる労働生産性向上に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の売上高については、前年より大きく回復いたしました。物流の混乱による輸送費の増加や原材料・燃料価格上昇の影響を受けました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高15,023百万円(前年同期比2,471百万円増、19.7%増)、営業利益269百万円(前年同期は営業損失153百万円)、経常利益275百万円(前年同期は経常損失114百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益282百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失444百万円)となりました。

当連結会計年度の主要な品目別売上高の状況につきましては、次のとおりであります。

## ②品目別売上高の状況

品目の名称	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額(百万円)	前連結会計年度比(%)
自動車関連資材	7,845	118.5
水処理関連資材	5,920	124.0
一般産業用資材	1,256	109.0
合計	15,023	119.7

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産総額は、15,534百万円となり、前連結会計年度末より204百万円減少しております。主に受取手形、売掛金及び契約資産が431百万円、原材料及び貯蔵品が259百万円、繰延税金資産が128百万円増加し、有形固定資産が492百万円、電子記録債権が450百万円、現金及び預金が79百万円減少いたしました。

負債総額は9,161百万円となり、前連結会計年度末より475百万円減少しております。主に電子記録債務が330百万円、支払手形及び買掛金が266百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税が88百万円増加し、長期借入金が684百万円、短期借入金が455百万円減少いたしました。

また、純資産につきましては、6,373百万円となり、前連結会計年度末より271百万円増加しております。主に利益剰余金が282百万円増加いたしました。

以上の結果、自己資本比率は28.9%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は361百万円となり、前連結会計年度末と比較して、79百万円の減少となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,524百万円(前年同期比1,325百万円増、665.6%増)となりました。これは主に棚卸資産の増加額311百万円の減少要因があったものの、減価償却費772百万円、仕入債務の増加額601百万円、税金等調整前当期純利益268百万円の増加要因があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、316百万円（前年同期比156百万円減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出230百万円、出資金の払込による支出92百万円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、1,291百万円（前年同期は220百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出735百万円、短期借入金の純減額455百万円があったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
自己資本比率	28.6%	28.5%	28.2%	26.9%	28.9%
時価ベースの 自己資本比率	36.2%	29.6%	26.0%	29.2%	21.8%
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	277.9%	488.1%	2,045.3%	2,839.9%	291.0%
インタレスト・ ガバレッジ・レシオ	34.4	22.1	5.2	4.7	43.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

\*1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

\*2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行株式総数をベースに計算しております。

\*3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

\*4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

## (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気の持ち直しが期待されています。しかしながら、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や供給面での制約等による下振れリスクが懸念されております。当社グループを取り巻く環境としましては、自動車関連資材の需要は回復基調にあるものの、世界経済の混乱を受け生産の調整が続いております。水処理関連資材においてはアジア・中東地域を中心に需要が堅調に推移する中で、今後も厳しい競争の継続が予想されます。

このような著しい事業環境変化の中、当社グループは営業力の強化や戦略的なアライアンスによる基盤事業の拡大と強化、また収益面においては、間接業務の合理化・省力化やDX(デジタルトランスフォーメーション)による業務プロセスの変革等に取り組む、収益構造の改善に努めてまいります。

以上により、次期の業績につきましては、売上高16,400百万円（前年同期比1,376百万円増、9.2%増）、営業利益400百万円（前年同期比130百万円増、48.5%増）、経常利益360百万円（前年同期比84百万円増、30.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益200百万円（前年同期比82百万円減、29.3%減）を見込んでおります。

## (5) 利益配分に関する方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題であると認識しており、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績及び配当性向等を総合的に勘案して剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、当期の業績と次期の業績見通しを勘案し、内部留保の確保を優先いたしたく、中間配当及び期末配当ともに誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

次期の配当につきましては、現時点では未定であります。業績等を基に決定してまいりたいと考えております。配当予想の開示が可能となりました時点で、速やかに公表いたします。

## 2. 企業集団の状況

当社グループは、当社（阿波製紙株式会社）、連結子会社1社、持分法適用関連会社1社、非連結子会社で持分法非適用会社1社により構成されており、機能紙・不織布の開発、製造・販売を主たる業務としております。

当社グループの主な事業内容及び当社と関係会社の当該事業に係る位置付けは次のとおりであります。

### (1) 自動車関連資材

主要な製品はエンジン用濾材、クラッチ板用摩擦材原紙、鉛蓄電池用セパレータ原紙などであります。

#### ①エンジン用濾材

当社及び子会社のThai United Awa Paper Co.,Ltd.が製造・販売をしております。また、持分法適用関連会社の滁州市国豊阿波濾材有限公司においても、製造・販売をしております。

用途としては吸気、潤滑油、燃料用があり、主に自動車のエンジン回りに使用されております。

#### ②クラッチ板用摩擦材原紙

当社が製造・販売しております。

主にオートマチック自動車のクラッチ板用摩擦材に使用され、トランスミッション（変速機）に組み込まれます。

#### ③鉛蓄電池用セパレータ原紙

当社が製造・販売するほか、子会社のThai United Awa Paper Co.,Ltd.が製造・販売しております。

自動車用のバッテリーとして使用される鉛蓄電池に入っているセパレータに使用されております。

### (2) 水処理関連資材

主要な製品は分離膜用湿式不織布であり、当社が製造・販売を行っております。

純度の高い水を製造する際の高圧力に分離膜が耐えられるよう強度を高めるための支持体として使用されております。

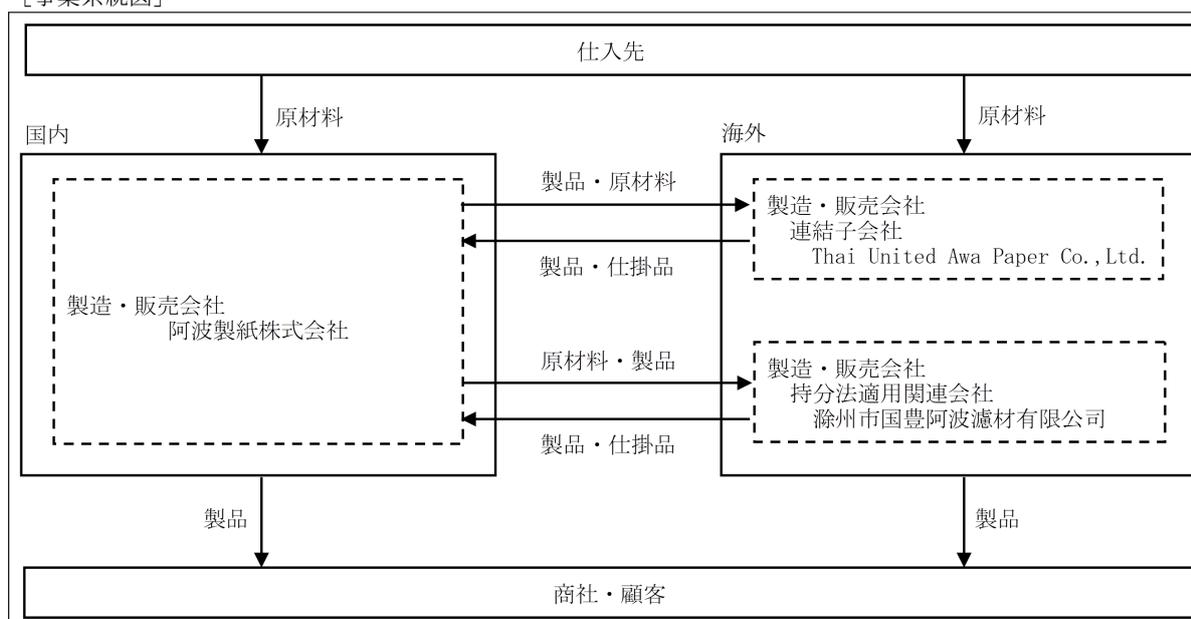
また、現在ではMBR（Membrane Bio Reactor）膜分離活性汚泥法という分離膜と活性汚泥法を組み合わせた廃水処理分野に取り組んでおり、MBR用浸漬膜及びユニットの製造・販売を行っております。

### (3) 一般産業用資材

主要な製品群は食品用、電気・電子部品用機能紙などであります。

食品用は、主に加工食品の鮮度保持に使用される脱酸素剤の包材として使用され、当社が製造・販売しております。電気・電子部品用は、主に電子機器などの断熱部材や放熱部材として使用され、当社が製造・販売しております。その他、主に耐熱プレス用の工程紙として使用される耐熱クッション材などがあります。

[事業系統図]



(注) 1. 非連結子会社で持分法非適用会社1社につきましては、投資ファンドであるため、事業系統図には記載していません。

2. 阿波濾材（上海）有限公司は、2021年9月17日に清算結了いたしました。

### 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、外国人株主比率の推移及び国内同業他社の国際会計基準の適用動向等を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	635,760	555,892
受取手形及び売掛金	2,442,323	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,874,083
電子記録債権	700,894	250,632
商品及び製品	961,664	905,785
仕掛品	661,843	766,457
原材料及び貯蔵品	850,827	1,110,787
その他	173,289	71,256
貸倒引当金	△35,847	△36,117
流動資産合計	6,390,756	6,498,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,186,229	3,067,037
機械装置及び運搬具(純額)	2,286,989	1,991,061
土地	2,723,631	2,723,049
リース資産(純額)	46,566	38,099
建設仮勘定	228,619	171,709
その他(純額)	328,265	316,791
有形固定資産合計	8,800,301	8,307,748
無形固定資産	13,317	7,714
投資その他の資産		
投資有価証券	184,947	171,866
繰延税金資産	14,630	143,469
その他	336,165	406,339
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	534,743	720,676
固定資産合計	9,348,362	9,036,140
資産合計	15,739,118	15,534,919

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,042,635	1,308,821
電子記録債務	1,055,022	1,385,348
短期借入金	1,381,302	925,400
1年内返済予定の長期借入金	735,372	684,696
未払法人税等	17,934	15,217
賞与引当金	169,366	196,439
その他	511,261	627,939
流動負債合計	4,912,894	5,143,863
固定負債		
長期借入金	3,467,794	2,783,098
リース債務	36,729	20,019
再評価に係る繰延税金負債	373,873	373,873
退職給付に係る負債	845,301	839,903
資産除去債務	1,165	1,135
固定負債合計	4,724,863	4,018,029
負債合計	9,637,757	9,161,893
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,385,137	1,385,137
資本剰余金	1,375,899	1,375,899
利益剰余金	526,886	809,709
自己株式	△114,661	△114,661
株主資本合計	3,173,262	3,456,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,109	△31,787
土地再評価差額金	836,565	836,565
為替換算調整勘定	233,594	232,319
その他の包括利益累計額合計	1,055,050	1,037,096
新株予約権	43,699	43,699
非支配株主持分	1,829,349	1,836,144
純資産合計	6,101,361	6,373,026
負債純資産合計	15,739,118	15,534,919

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	12,551,062	15,023,034
売上原価	10,662,390	12,409,916
売上総利益	1,888,671	2,613,117
販売費及び一般管理費	2,042,504	2,343,723
営業利益又は営業損失(△)	△153,832	269,393
営業外収益		
受取利息	1,668	1,026
受取配当金	5,073	3,657
受取ロイヤリティー	6,781	—
為替差益	13,995	44,304
助成金収入	124,936	43
保険解約返戻金	—	31,901
その他	17,569	32,356
営業外収益合計	170,024	113,290
営業外費用		
支払利息	42,726	35,066
投資事業組合運用損	42,407	59,170
持分法による投資損失	16,439	—
その他	29,491	12,734
営業外費用合計	131,065	106,971
経常利益又は経常損失(△)	△114,873	275,712
特別利益		
固定資産売却益	824	4,027
投資有価証券売却益	256	—
特別利益合計	1,080	4,027
特別損失		
固定資産売却損	—	83
固定資産除却損	8,762	11,517
減損損失	137,694	—
特別損失合計	146,456	11,601
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△260,249	268,138
法人税、住民税及び事業税	52,610	37,591
法人税等調整額	2,125	△128,839
法人税等合計	54,736	△91,248
当期純利益又は当期純損失(△)	△314,986	359,386
非支配株主に帰属する当期純利益	129,916	76,563
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△444,902	282,823

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△314,986	359,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,353	△16,678
為替換算調整勘定	△187,741	△5,861
その他の包括利益合計	△167,387	△22,539
包括利益	△482,373	336,847
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△514,721	264,869
非支配株主に係る包括利益	32,347	71,977

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,385,137	1,375,899	971,788	△114,661	3,618,164
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△444,902		△444,902
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△444,902	—	△444,902
当期末残高	1,385,137	1,375,899	526,886	△114,661	3,173,262

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△35,463	836,565	323,766	1,124,869	43,699	1,846,743	6,633,476
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△444,902
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	20,353		△90,172	△69,818		△17,394	△87,213
当期変動額合計	20,353	—	△90,172	△69,818	—	△17,394	△532,115
当期末残高	△15,109	836,565	233,594	1,055,050	43,699	1,829,349	6,101,361

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,385,137	1,375,899	526,886	△114,661	3,173,262
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			282,823		282,823
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	282,823	—	282,823
当期末残高	1,385,137	1,375,899	809,709	△114,661	3,456,085

	その他の包括利益累計額				新株 予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額 合計			
当期首残高	△15,109	836,565	233,594	1,055,050	43,699	1,829,349	6,101,361
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純利益							282,823
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△16,678		△1,275	△17,953		6,794	△11,158
当期変動額合計	△16,678	—	△1,275	△17,953	—	6,794	271,664
当期末残高	△31,787	836,565	232,319	1,037,096	43,699	1,836,144	6,373,026

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	△260,249	268,138
減価償却費	806,547	772,911
減損損失	137,694	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△57,012	27,073
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,989	△5,249
受取利息及び受取配当金	△6,742	△4,684
保険解約返戻金	—	△31,901
支払利息	42,726	35,066
投資事業組合運用損益 (△は益)	42,407	59,170
持分法による投資損益 (△は益)	16,439	—
固定資産売却損益 (△は益)	△824	△3,943
固定資産除却損	8,762	11,517
投資有価証券売却損益 (△は益)	△256	—
助成金収入	△124,936	△43
売上債権の増減額 (△は増加)	△138,945	19,446
棚卸資産の増減額 (△は増加)	150,330	△311,308
仕入債務の増減額 (△は減少)	△467,781	601,782
その他	△45,815	137,271
小計	109,332	1,575,245
利息及び配当金の受取額	6,162	4,482
利息の支払額	△44,183	△35,938
助成金の受取額	107,436	17,543
補償金の受取額	86,323	—
法人税等の支払額	△65,898	△36,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	199,172	1,524,930
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△45,000	△45,000
定期預金の払戻による収入	79,200	45,000
有形固定資産の取得による支出	△638,675	△230,714
有形固定資産の売却による収入	53,935	4,056
無形固定資産の取得による支出	△249	△1,025
無形固定資産の売却による収入	81,552	—
投資有価証券の取得による支出	△3,597	△3,597
投資有価証券の売却による収入	34,186	—
出資金の払込による支出	△30,513	△92,457
その他	△3,468	7,683
投資活動によるキャッシュ・フロー	△472,629	△316,054
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△302,569	△455,102
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△890,985	△735,372
非支配株主への配当金の支払額	△49,741	△60,752
その他	△35,822	△40,451
財務活動によるキャッシュ・フロー	220,880	△1,291,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,357	3,166
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△55,932	△79,636
現金及び現金同等物の期首残高	496,931	440,998
現金及び現金同等物の期末残高	440,998	361,362

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

当連結会計年度において、連結子会社であった阿波濾材(上海)有限公司が清算終了したため、連結の範囲から除外しております。ただし、清算までの期間に係る損益につきましては、連結損益計算書および連結包括利益計算書に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から、当該商品又は製品の支配が顧客への移転される時までの期間が通常の期間である場合は、出荷時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は、以下のとおりです。

(代理人取引に係る収益認識)

顧客への財又はサービスの提供における当社の役割が代理人に該当する取引については、従来は顧客から受け取る対価の総額で収益を認識していましたが、顧客から受け取る対価の総額から仕入先等に対する支払額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

(受取ロイヤリティーに係る収益認識)

受取ロイヤリティーは、従来は営業外収益として認識していましたが、売上高として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,516千円減少し、売上原価は15,836千円減少し、営業利益は14,320千円増加しておりますが、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

これによる、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、機能紙、不織布の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	423.73円	450.28円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△44.59	28.34
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	28.11

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△444,902	282,823
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△444,902	282,823
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,978	9,978
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	84
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. 個別財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	212,100	195,145
受取手形	19,256	11,527
電子記録債権	700,894	250,632
売掛金	1,868,633	2,251,276
商品及び製品	790,686	804,878
仕掛品	588,165	634,075
原材料及び貯蔵品	383,815	453,138
前払費用	11,632	10,999
その他	66,281	22,785
貸倒引当金	△35,847	△36,117
流動資産合計	4,605,617	4,598,341
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,385,156	2,310,534
構築物	51,054	45,771
機械及び装置	799,606	716,792
車両運搬具	8,463	4,681
工具、器具及び備品	69,523	63,397
土地	2,523,533	2,523,533
リース資産	42,034	34,426
建設仮勘定	152,454	148,445
有形固定資産合計	6,031,829	5,847,583
無形固定資産		
ソフトウェア	6,672	4,010
その他	6,437	3,348
無形固定資産合計	13,109	7,359
投資その他の資産		
投資有価証券	184,947	171,866
関係会社株式	908,039	908,039
関係会社出資金	228,972	261,824
繰延税金資産	—	134,408
保険積立金	80,816	118,835
その他	26,330	25,642
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	1,428,107	1,619,616
固定資産合計	7,473,046	7,474,559
資産合計	12,078,663	12,072,900

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	1,055,022	1,385,348
買掛金	819,276	884,380
短期借入金	880,001	651,000
1年内返済予定の長期借入金	735,372	684,696
リース債務	34,454	24,906
未払金	286,203	347,596
未払費用	80,482	84,813
未払法人税等	5,536	12,149
賞与引当金	169,366	196,439
その他	34,789	111,808
流動負債合計	4,100,505	4,383,138
固定負債		
長期借入金	3,467,794	2,783,098
リース債務	36,729	20,019
再評価に係る繰延税金負債	373,873	373,873
退職給付引当金	794,757	789,209
資産除去債務	1,165	1,135
固定負債合計	4,674,319	3,967,335
負債合計	8,774,825	8,350,474
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,385,137	1,385,137
資本剰余金		
資本準備金	1,375,899	1,375,899
資本剰余金合計	1,375,899	1,375,899
利益剰余金		
利益準備金	82,474	82,474
その他利益剰余金		
別途積立金	403,000	403,000
繰越利益剰余金	△693,166	△257,900
利益剰余金合計	△207,692	227,573
自己株式	△114,661	△114,661
株主資本合計	2,438,683	2,873,949
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,109	△31,787
土地再評価差額金	836,565	836,565
評価・換算差額等合計	821,456	804,777
新株予約権	43,699	43,699
純資産合計	3,303,838	3,722,426
負債純資産合計	12,078,663	12,072,900

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	9,761,358	11,593,524
売上原価	8,459,246	9,570,191
売上総利益	1,302,112	2,023,332
販売費及び一般管理費	1,788,637	1,898,482
営業利益又は営業損失(△)	△486,524	124,849
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	52,631	61,570
受取ロイヤリティー	57,501	—
為替差益	—	7,880
保険解約返戻金	—	31,901
助成金収入	124,936	43
その他	38,431	42,652
営業外収益合計	273,501	144,047
営業外費用		
支払利息	28,138	28,847
為替差損	2,284	—
投資事業組合運用損	42,407	59,170
その他	22,195	7,147
営業外費用合計	95,026	95,165
経常利益又は経常損失(△)	△308,049	173,732
特別利益		
投資有価証券売却益	256	—
関係会社清算益	—	164,534
特別利益合計	256	164,534
特別損失		
固定資産除却損	8,615	11,517
減損損失	137,694	—
関係会社出資金評価損	16,439	—
関係会社債権放棄損	80,754	—
特別損失合計	243,504	11,517
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△551,297	326,749
法人税、住民税及び事業税	26,971	25,891
法人税等調整額	—	△134,408
法人税等合計	26,971	△108,516
当期純利益又は当期純損失(△)	△578,269	435,266

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余金 合計			
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,385,137	1,375,899	1,375,899	82,474	403,000	△114,897	370,577	△114,661	3,016,952	
当期変動額										
当期純損失(△)						△578,269	△578,269		△578,269	
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△578,269	△578,269	—	△578,269	
当期末残高	1,385,137	1,375,899	1,375,899	82,474	403,000	△693,166	△207,692	△114,661	2,438,683	

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△35,463	836,565	801,102	43,699	3,861,754
当期変動額					
当期純損失(△)					△578,269
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	20,353		20,353		20,353
当期変動額合計	20,353	—	20,353	—	△557,916
当期末残高	△15,109	836,565	821,456	43,699	3,303,838

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								株主資本 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式			
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金					利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,385,137	1,375,899	1,375,899	82,474	403,000	△693,166	△207,692	△114,661	2,438,683	
当期変動額										
当期純利益						435,266	435,266		435,266	
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	435,266	435,266	—	435,266	
当期末残高	1,385,137	1,375,899	1,375,899	82,474	403,000	△257,900	227,573	△114,661	2,873,949	

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△15,109	836,565	821,456	43,699	3,303,838
当期変動額					
当期純利益					435,266
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	△16,678		△16,678		△16,678
当期変動額合計	△16,678	—	△16,678	—	418,587
当期末残高	△31,787	836,565	804,777	43,699	3,722,426

6. その他

(1) 役員の変動(2022年6月24日付予定)

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・新任監査役候補

監査役 島内 保彦

(注) 島内 保彦氏は、社外監査役候補者であります。

・退任予定監査役

監査役 岸 宏次

(注) 岸 宏次氏は、社外監査役であります。

③ 就任及び退任予定日

2022年6月24日

(2) その他

該当事項はありません。